

大阪府立茨木工科高等学校 定時制の課程  
令和6年度 第1回学校運営協議会 記録

日 時 令和6年6月7日（金） 14:00～15:30

場 所 管理棟2階 会議室

出席者 学校運営協議会委員（6名）

|                |       |
|----------------|-------|
| 後援会会長          | 川口 雅夫 |
| 府立茨木工科学校医      | 田中 孝二 |
| ユービック情報専門学校前校長 | 北村 翼  |
| 府立茨木工科前准校長     | 小川 寿之 |
| 府立茨木工科高校（定）保護者 | 中田 愛  |
| 府立茨木工科高校（定）保護者 | 松本 礼代 |

教職員（7名）

|       |        |
|-------|--------|
| 准校長   | 井上 直人  |
| 教 頭   | 佐々木 博章 |
| 首 席   | 播田 晃久  |
| 教 務 部 | 中村 有佑  |
| 生活指導部 | 平山 篤   |
| 進路指導部 | 岩永 満   |
| 保健指導部 | 小池 隆一  |
| 書 記   | 日置 鷹飛  |

（以上全14名）

次第

1. 学校長挨拶 （准校長 井上）

- ・中高連絡会については、9校が参加し、不登校だった子が登校していることや、あるいは非常に指導が困難な子が少し指導に乗ってきていることを中学校の先生にお伝えすると大変喜ばれ、今後またお願いしますとの声をいただきました。  
教育をしていくうえで、非常に有意義な連携になったと思う。
- ・佐々木教頭より、「すらら」というシステムを教えていただいた。一人一人に対してクイズ形式で、学習を進めていくという点から、個別最適な学びに相当するのではないかと考え、導入を進めている。

2. 会長挨拶 （後援会会長 川口）

- ・小零細企業は、かなりの数がなくなっていく流れである。知恵を使っていくしかない。
- ・成功者の秘訣としてあげられているのは、「勉強好きでないと成功しない」。  
経営者に関わらず、個人的にも学習し学び続けることがより良い成果を上げるため

には必要である。

### 3. 議題

#### 1) 学校経営計画及び学校評価（井上准校長）

- ・「目指す学校像」や「中期的目標における4つの柱」は例年と変わらない。

##### (1) 本年度の取組内容及び自己評価

- ・評価指標を先生方に意識していただいて教育活動をしていただいている。

##### ○社会の中で主体的に生きる力を育てる

- ・ア. 1 台端末を利用した個別最適な学びのある公開研究授業を校内で10回以上実施し、基礎学力を定着させる。
- ・(生徒向け学校教育自己診断)「先生は、授業中に生徒の学習状況をよく把握しようとしている」肯定率85%以上を維持。  
→個別最適な学びというところに関連している。
- ・(授業アンケート) 分かる授業という意味で、「授業が楽しくわかりやすい」肯定率85%以上維持。
- ・イ. 1 人1 台端末を利用した主体的・対話的な深い学びのある公開授業を、校内で10回以上、校外で5回以上実施する。  
→主体的・対話的な深い学びの2本柱で授業を行っていこうと思う。
- ・(生徒向け学校教育自己診断)「授業で自分の考えをまとめたり、発表する機会がある」肯定率60%以上をめざす。昨年度53.1%

授業に関してこの2本柱に関しての指標を職員会議にて、教員にお願いしている。

- ・資格取得について、本校の特徴である自動車系列で3級自動車整備士の受験率100%、合格率100%維持することを1つの目標としている。  
→昨年度、受験率をあげようというふうに先生方にお願いしたところ、受験資格がある生徒全員が受験・合格することができた。  
合格率100%は他の学校では難しいが、生徒の話を聞くと、授業や実習でやったからわかるのとことで、先生方が最終的に整備士の試験を受けてほしいという思いを持ちながら、指導されている結果かなと思う。
- ・就職率100%も維持していく。

##### ○周囲から尊敬される社会人を育てる

- ・本校は、中学時代に不登校であった生徒が多くいるという背景もあり、「長欠（年間30日以上欠席）生徒を在籍数25%以下をめざす」というところを頑張っていこうと思う。  
学校に魅力を持たせる・生徒の悩みをしっかりと受け止めて対応していくという2本柱を重点的にやっていこうと思う。

- ・協調性や社会性の育成という部分で、外部の大会に参加する。

昨年度は、バスケットボール部が公式戦や練習試合をしているという中で、まだまだ今年も活発なため、学校の魅づくり、チームワークで頑張ることによる協調性を持たせるため、力を入れていこうと思う。

#### ○誇りをもてる学校づくり

- ・昨年度の1頃に、三島小学校にて本校教員が出前授業を行った。

3日間で110人と大変ではあったが、小学生も喜んでおり、小学生に教えるという新鮮な教育活動につながっていき、本校の魅力につながるのではと考えている。

- ・ホームページを更新しているが、昨年度の保護者向け学校教育自己診断での「ホームページをよく見る」における肯定率が22%であり、あまりにもホームページが見られていないと意識して重点にする。

- ・教員同士で授業を見学するということが有意義であると考えており、  
(教員向け学校教育自己診断)「学校内で他の教員の授業を見学する機会がある」  
肯定率75%以上をめざす。昨年度71.9%

→教育活動をさらに高めていくうえで必要だと考えている。

## 2) 教務部

- ・資料P6参照

- ・令和5年度は、出席簿から日々入力として、校務処理システムを活用した。その結果、出席統計の手間が省略できた

各科目の欠時数がどれだけあるかが、すぐ分かるようになった。

→生徒の指導がしやすくなった。

- ・生徒の学びの機会を広げるために、科目の受講年限の変更・科目の追加等を教育庁に申請し、受理された。

- ・R6年度 年間行事予定について

昨年度からの変更点

○第一回、第四回考査の日数を4日→3日に変更

→授業数確保のために変更。減らすことにより支障がでるかシミュレーションしたが、テストの数などを鑑みた結果、問題ないと判断した。

○短縮授業の日数を42→41に変更

→授業確保のため

○短縮授業の期間の移行（7月のガス溶接技能講習の5日間の短縮を削除）

進路指導部からの要望があり、9月に進路面接指導週間を設けた。

○校外学習と球技大会は、昨年度同様2回ずつ実施する。

- ・教科用図書について

准校長より選定委員の任命があり、先日第1回の選定委員を開催した。

6月15日より、大阪府教育庁主催の使用教科書採択説明会がオンデマンドにて配信される。その内容を受けて、公平を確保しつつ、本校生徒の学習にふさわしい選定

を進めていく。選定結果については、第2回の学校運営協議会にて報告予定。

### 3) 生活指導部

資料P10 参照

・教員の入れ替わりが激しい年度であったが、生徒との意思疎通の回数が増えていてポジティブに捉えている。

・生活指導部として、良いことは良い、悪いことは悪いと生徒に伝わるよう指導しているが

特性等で伝わりにくい場合は、教育相談委員と連携して、教員全員で生徒指導にあたるようにしている。

- ・各授業で学習に困難を抱える生徒については、個別の教育支援計画を作成し、生徒の実態を把握する。その後、各教科に指導計画を立てていただき、個別最適な学びを生徒に提供できるように努めている。
- ・授業規律について、教室掲示や教室巡回を行い、適宜言葉かけ等を行っている。
- ・今年度から生活指導強調週間を全ての長期休暇明けに実施している。
- ・早退については、許可制とし、取組改善は令和元年度より行っており、制度としては確立していたが、運用方法の不明確な点が昨年度まで多くあった。
- ・今年度からは、用紙を生徒に渡し、担任にも控えを渡すとし、手続きの運用方法をしっかり明確にしたうえで、早退を許可するようにしている。
- ・特別指導について、直近で資料記載の指導に加えて、対教師暴言等が2名。  
→この件については、懲戒指導を行った。
- ・昨年度の特別指導について、件数に対して、人数が少ない。  
→同じ過ちを同じ生徒が犯している。指導を理解していないか納得していないのでは。昨年度までは、次同じことをすると重たい指導になると言っていたが、日数で懲罰を与えるのではなく、生徒が自分の行動を振り返って、次同じ場面になったときに、同じ行動をしないでおうという風に、納得して次の行動に進めるよう指導することが大切だと考えている。
- ・大人からすると間違っているということも、生徒に聞くと生徒なりに、理屈や思いがあり、行動しているところもあるため、そこに対して、1つずつ目線を合わせ、対話し、解決するようにすると、今年度の特別指導に関しては、指導を受けた後に、生徒から「いっぱい話を聞いてくれてありがとう」などの言葉があがっているため、一定の成果は見えつつある。

### 4) 進路指導部

- ・昨年度の就職斡旋の実績報告

内定率・進学率 100%      進路決定率についても 100%

- ・進学においては、播田首席の紹介もあり、企業型推薦入試の枠で進学。
- ・今年度の進路希望調査について  
卒業予定 12 名 就職希望 10 名（うち 4 名が斡旋） 進学希望 2 名  
就職希望者の内訳については、現在集約中。
- ・昨年度の進路希望調査について報告
- ・今年度より、奨学金の制度が変更となり、給付金が幅広くなったので JASSO に来ていただき、教員向けの研修を行った。
- ・面接指導週間を設け、学校全体で指導していく。

## 5) 保健指導部

令和 6 年度 定期健康診断等日程について報告

## 6) いじめ等アンケートについて

- ・いじめを見逃さない・許さないという方針で運営をしている。
- ・P25 いじめ等アンケートを 1 人 1 台端末を使用し、年 3 回実施している。
- ・直近では、6 月 4 日に行い、30 件ほどのデータが取れ、いじめと疑われるようなものはなかった。ただ、いくつか気になる点もあったため、いじめ対策委員会や教育相談委員を含め、面談等を行っていく予定。まだ、アンケートについては、集約中。

## 7) 令和 6 年度 授業アンケートについて

- ・座学の強化と実技の強化、特徴が違うため、質問項目を分けていたが、生徒が回答することになるため、「この教科はどっちだ」となり、非常に複雑であったので、准校長により、整理をいただき、各職員管理で報告をした。
- ・本年度については、2 回実施し、集計結果及び集計結果については、次回以降の学校運営協議会にて報告。

## 8) Q&A

Q、教科書は全然違うものなのか？

A、進学校とそうでない学校では、より詳しく記載があるなど、やはり内容に違いがある。

Q、バイク通学は、認めていないのか？

A、原則禁止としている。ただ、家庭の都合でアルバイトをしなければならないなど配慮が必要となる生徒がいるため、そのような場合は、生活指導部等でしっかり検討したうえで、最後に准校長に決裁いただき、許可している。

Q、企業型推薦入試とは？

A、日産大阪がされている制度で、卒業後、就職することを前提に、借りていた奨学金の一部を企業が負担するという人材確保に努めるという制度。試験があるため、試験を受け、採用される必要がある。